

# 夢 広がる なかしべつ

中標津町農業協同組合

Vol.397

1  
2008



北海道をもっと食べようディナーパーティー

(2007.12.19)

INDEX/目次

毎月19日は食育の日



## ●新年のご挨拶 代表理事組合長 高橋勝義... 3

◆北海道農業協同組合中央会会長 宮田 勇... 4

◆根室農業改良普及センター北根室支所長 松田 修... 5

◆女性部長 長正路八世榮 青年部長 中本信幸... 6

◆組合長杯ソフトバレーボール大会... 7

◆パズルで脳を活性化... 8~10

◆全道JA青年部大会... 11

◆掲示板... 12~14

◆家畜改良課より... 15

# 中標津町農業協同組合

平成二十年元旦

代表理事組合長	高橋	副組合長理事	藤井	菅農委員長理事	上村	管理購買委員長理事	鈴木	生産委員長理事	中林	理事	篠永	理事兼務参事	乾出	理事兼務管理部長	西原	代表	土上	監事	瀧平	小乾	
勝美	重智	祥光	忠幹	直雄	慎文	賢二	清一	聖信	昭男	義明	雅晴	和範	外	同	同	同	同	同	同	同	同

# 総合力試される1年 信頼の積み重ねの上に專業成果を



代表理事組合長 高橋 勝 義

新年明けましておめでとうござい  
ます。皆様には2008年の門出を  
ご健勝でお迎えのことと心からお慶  
び申し上げます。

旧年中は、農協事業運営に對しま  
して組合員の皆様を始めとして、各  
関係機関の方々にも特段のご指導・  
ご支援を賜り厚く感謝を申し上げる  
次第でございます。

昨年は、国政レベルで参議院議員  
の選挙があり、民主党が第一党になり、  
国会は衆参ねじれ状態になり、お互  
いに主張しあい、会期延長したものの、  
理解できないかけ引きで、国民生活  
のために政治が機能を果たしている  
のか、不満を持っているのは私だけ  
では無かったはずで、一面ささや  
かれているのが、選挙があるのでは  
ないか？ 日時はいつか？ 誰のた  
めにやるのか？ それらを明らかに  
して、有権者の審判を受けることを  
望む次第です。

さて、農業面に目を向けると、燃  
料高騰による、コストの上昇があら  
ゆる方向に転嫁され、生産者を苦し  
めています。特に、飼料の高騰によ  
り経営に大きなマイナスを与える状  
況が今日まで続いているところであ  
ります。もはや、自助努力では吸収  
できないところにあることを国に強  
く訴えています。国からの具体的  
な政策の打ち出しが無いところで、  
引き続き行動を強めて参ります。一方、

乳業メーカーサイドからは、一定の  
価格対応を引き出し、最後の詰めを  
進めており、近く組合員皆様には正  
式にお伝えできると考えております。

諸課題、WTO農業交渉・日豪E  
PA交渉も主張が相互に埋まらない  
まま数年たち、結論が出ていませんが、  
日本としても国内農業を守る上にお  
いて慎重に対応を願うものであります。

昨年の我がJA中標津を振り返っ  
た時、冬の風雪の被害も特にみられず、  
春を迎え、デントコーンの生育、牧  
草も進み、夏場に一時的に暑さが来  
ましたが、総体に大きな影響がなく、  
秋の収穫でも、計画以上で豊作年と  
言える年でありました。

一方、生乳生産では、生産調整から、  
6月後半以降は増産の展開となり、  
生産者にとりまして変化に対応でき  
ない事態となりました。農協として  
暑熱対策を含め、対策を打たせてもら  
ったところです。今現在は、103・  
5%の伸びであります。計画比で  
見ますと、十分な枠の猶予がありま  
すので、搾ってもらってもけっこ  
うです。牛の管理を引き続き徹底願  
います。

明けた2008年の我がJAとし  
て何点か考え、取り組みについて述  
べてみたいと思います。まず、昨年  
秋から第6次の農業振興計画を策定  
中であり、組合員の将来の方向性を  
肉付けしてお示しできると考えてい

ます。また、同時に農協の計画も合  
わせて固まって参り、今後5カ年先  
を見据えて提案させていただきます。

農業政策でも制度見直しの段階で  
あり、農業者がしつかり生産活動に  
取り組みができるよう国に働きをし  
なければなりません。そのことが消  
費者に安全・安心を提供できる礎と  
なり次代に繋がる信じております。

農協事業の展開では、Aコープ中  
標津店『あるる』が平成10年10月に  
オープンして10周年を迎える年に当  
たります。企画含めて、愛される店  
を目指し、さらに努力するところです。  
スタンド、資材購買店舗は、より競  
争が激しくなるものと職員気を締めて、  
今日までの実績・信頼の上に事業へ  
の成果となるよう、職員の体制と攻  
めの姿勢を持って力を結集し取り組  
んで参ります。

最後になりますが、この一年は当  
JAにとりまして総合力を試される  
極めて重要な意味を持ちます。どうぞ、  
組合員皆様におかれましても共に同  
じ思いを持って乗り越えていきたいと、  
強く望んでおります。高い目標と理  
想に向かっています！！

結びに、組合員を始めJAをご利用  
の皆様にとりまして平成20年が輝  
かしく希望に満ちた年でありますこ  
とをご祈念申し上げ、年始のご挨拶  
と致します。

# 時代は「競争」から「共生」へ変化

北海道農業協同組合中央会会長 宮田 勇



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の北海道農業は、春先からの天候不順で、出来秋が心配されておりましたが、その後は好天に恵まれ地域差はあるものの全体的には総じて良好に推移しました。しかし本道の米の作況指数は98となり、さらに府県の過剰作付けに起因する米価格の下落とあいまって稲作経営は一層厳しさを増しました。また、畑作経営においては昨年度から導入された品目横断的経営安定対策では農家手取り水準が減少傾向を示し、酪農経営では飼料価格の上昇が経営コストを押し上げたほか、急激な原油価格の高騰を背景とした生産資材価格の上昇が追いつけをかけ、全道の農家経済は危機的な状況を招いております。

努力を反映した単価水準とするよう見直しを強く求めてきた結果、昨年12月の予算折衝にあわせ、補正予算による一定の方向が示されたところであります。

WTO農業交渉につきましては昨年7月に提示された農業交渉議長によるモダリティ案に基づき交渉が重ねられてきましたが、依然主張に大きな隔たりがあることから交渉の推移は大幅に遅れている状況にあります。また、日豪EPA交渉については、昨年4月より交渉がスタートし、すでに3回の会合が開催されており予断を許さない状況にあります。

このため、JAグループ北海道といたしましては、生産者の所得確保対策と経営安定を図るための取り組みを展開した結果、米については昨年34万トンの緊急対策と担い手対策などが打ち出され、今後の価格浮揚など効果が期待されるところであります。

また、品目横断的経営安定対策につきましましては、生産現場からの様々な課題提起を踏まえ、特に小麦の緑ゲタについては、近年の生産性向上

経営基盤を確立することが重要であり、「第25回JA北海道大会」で決議した協同活動の実践に積極的に取り組んでまいります。

これまでの社会はひたすら物質的豊かさを追い求め、その結果、経済効率、企業優先の社会となり資源や環境の破壊をもたらしてきました。しかし環境や資源、安全などが重視されるようになり農業、JAに対する期待が高まっています。

時代は「競争」から「共生」の社会へと確実に変化しています。いまこそ「一人は万人のために、万人は一人のために」という協同組合の理念を全員が意識し「共生の世紀づくり」にまい進しようではありませんか。JAグループ北海道は組合員、JA地域住民の期待と信頼に応えるためこれからも全力で取り組むこととあわせ、今後ともJAに対する道民の理解を深める広報活動を一層強めてまいりたいと存じます。

最後に、本年も災害がなく豊稔の出来秋を迎えることができよう心からご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 「技術の総点検で内部充実を」

根室地区農業改良普及センター北根室支所長 松田 修



謹んで新年のお慶びを申し上げます。

皆様には本年もご健勝で輝かしい新春を家族共々お迎えのことと存じます。また日々の営農に精を出され、地域農業の発展にご尽力をなされていることに対しまして、心より敬意を申し上げます。

貴組合におかれましては、営農部が最重要ポイントとして掲げた「良質な自給飼料の確保」は、これからの地域農業をお考えになられた対応であり、特筆に値するものと存じます。

昨年を顧みますと、農耕期の平均気温は、5月中下旬・7月と10月の中旬を除き、平年を大きく上回って推移しました。

降雨と日照は、期間をとおして良好に推移したといえます。ただ9月の台風一九号は100ミリを超える雨量がありました。

このような気象推移と皆様のご努力により、牧草の年間合計収量は平年並みを確保し、サイレージ品質についても、収穫作業条件が良好であったことと、高刈りや十分な踏圧などの収穫調製方法改善により、地域差はあるものの期待できる仕上がりと思われまます。

サイレージ用とうもろこしにつきましても、収量・品質ともに良い状態

で確保されました。また、露地栽培面積が急増していますが、温暖化のもとで極早生品種を用いても、当地域は栽培限界地帯であることにより、気象変動の影響を考慮した取り組みが大切です。

畑作物は収量・品質とも良好でした。ただ大根に土壌病害、ブロッコリーに花蕾腐敗が一部発生しました。しかし適切な生産技術対応により販売額は平年並となりました。

生乳生産は消費低迷による計画生産と、穀物・原油が高騰する状況下で、前半は伸び悩みましたが、後半は前年対比2%増産の目標達成へ向かい、生産状況が安定してきました。

国内農業面では、飲用乳消費の低迷は続いています。脱粉・バターの国際相場上昇で、国産品の引き合いが強まっています。

雪印乳業が昨年に地元チーズ工場を竣工し、本格操業体制に入るなど、乳業大手メーカー3社は道内チーズ工場の増産体制を整備。中酪は穀物・原油価格の高騰はあるものの、北海道生乳計画生産目標を前年対比3%増を掲げました。一方、政府レベルでは、米の転作下における過剰作付け、品目横断施策見直しなど問題が山積

してあります。

国際的には、WTO農業交渉モダリティー問題と日豪EPA交渉の行方、国際的な穀物のバイオエネルギー仕向けと原油相場問題。いずれも農業経営に直結するものばかりです。

このような国内外の諸情勢から、生産物の安全と安心を基本に、経営をどのように展開すべきかが課題です。生産コスト上昇・生産物価格低迷の状況下で、前年同様の所得を必要とするならば、内部充実で生産効率を上げるか、規模を拡大するしか方法がありません。内部充実で最も重要な技術は良質粗飼料の活用で疾病を防ぎ、分娩間隔を最小限にすることです。また規模拡大は労働限界の解決が重要であり、地域支援組織等の活用は、所得放出を解決できる設計が必要です。従って投資と技術の十分な検討が大切です。

普及センターは、農業者と共に考え、将来が豊かな地域づくりを関係機関と共に進めます。

最後に、本年も皆様方がご健勝であり、総り多い年となりますことを心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。



# 切り口を変えてピンチをチャンスに



青年部 中本 信幸部長

新年、明けましておめでとうございます

新年、明けましておめでとうございます。

組合員の皆様におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げますとともに、当青年部に對しまして旧年中、変わらぬ御理解と御協力を賜りまして、感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2年目となる生乳の計画生産や、猛暑における農畜産物の管理。WTO農業交渉・日豪EPA交渉の行方や、数々の食品偽装問題。原油価格高騰による生産資材の相次ぐ値上げ等々、我々を取り巻く環境はいばらの道が続いております。しかしながら、私たち青年部は歩みを止めることなく、「食の安心・安全」、「食育」、「青年部活動の活性化」、「JA運営への参画」等をテーマに様々な活動を行ってまいりました。

切り口を変え、牛乳の消費拡大を訴え初めて企画した、チャリティープロレス大会。青年部総会では、部員全員スーツ着用で士気を高め、5年目となった小学生親子農業体験事業では、はじめて本物の乳牛を使つての搾乳体験。20回目となったじやがいも伯爵まつり&ふれあい広場では、高橋組合長合図のもと、大勢のお客さんと牛乳で「乾杯!!」と、通年行事においても、マンネリを打破すべく活動を行ってまいりました。

今年度においても様々な活動を通じ、活性化を図り、この厳しい情勢をチャンスに変え、これからも前進していきたいと思っております。

最後に、組合員の皆様の御健勝と御多幸をお祈りするとともに、当青年部活動に御理解と御協力、激励を頂ければ幸いです。よろしくお願いたします。



# 今年も元気な女性部活動を

あけましておめでとうございます。  
平成20年の新春を迎え皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は原油高騰に伴い飼料価格や燃料等の値上げで今までコストダウンにがんばってきた酪農家にとって大変な年となり、まだまだ落ち着かない状態であつていくのか不安な毎日です。  
また、1月に内部告発から発覚した大手洋菓子製造販売フランチャイズによる隠蔽(いんぺい)から始まり、次々と食品偽装や産地偽装、賞味・消費期限の改ざんなどのニュースが日本中を巻き寄せた年となり『食』に対する信頼が壊れている今、「牛乳」という食品を生産している農家として安心・安全というものに対して改めて考えているところです。

女性部の活動も今年度はコース別教室ということで部員の中から講師をお願いすることで気軽に参加することができ、和気あいあいと活動できました。1回目はとうきび人形作りとビーズ教室。2回目はペン字と風呂敷の活用術を習得しました。風呂敷はどこの家庭にもあるものですが、あまり使用されずに使われていものが多くありますが、いろいろな包み方ができるように、みんながびっくりでした。

今年もまた、元気な女性部で活動ができるよう皆様のご協力と皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。



女性部 長正路 八世榮部長

JA中標津杯ソフトバレーボール大会

## 寒さに負けずに 熱戦を制し!

### 第12回 JA中標津杯 ソフトバレーボール大会



中標津町ソフトバレーボール連盟が主催し、当農協が後援する第12回JAなかしべつ杯ソフトバレーボール大会が、12月16日に中標津町営体育館で開かれ、町内外から全35チーム（約170人）が参加し、熱戦を繰り広げました。

JAなかしべつ杯として、基本的には町のソフトバレーボール協会に加入されている選手で構成されるチームを主に農家関係者チームの参加が認められ、スポーツを通しての健全な体づくりを目指す参加門戸の広い大会となっています。

今年もチームを構成する年齢によって青年の部と壮年の部（35歳以上）に分けて、各

リーグ戦を勝ち抜いたチームによる決勝トーナメントで競技が進められました。

各チーム日頃から練習を重ねてきているチームが多く、スーパーリーの連続の対戦が続出しました。また、急ぎよ参加のチームも上手で、開場をわかせました。

約束手了してくれたPARTIII（パースリー）チームは、『牛乳に相談だ。』Tシャツで参加。唯一の女子だけチームでしたが、普段の練習で大切なですね！男女の差を感じさせないスパイクなど、混合チーム相手に、非常に見ごたえのある試合をしていました。

参加者には、体作りのために、なかしべつ牛乳の参加賞のほか、優勝チームなどにじゃがいもと乳製品詰め合わせのセットが贈られました。

#### ◎大会の結果

##### 壮年の部

- 優勝=中標津JVチーム
- 2位=KT35 2番隊チーム

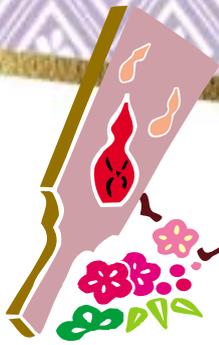
##### 青年の部

- 優勝=Punchチーム
- 2位=G-UPチーム

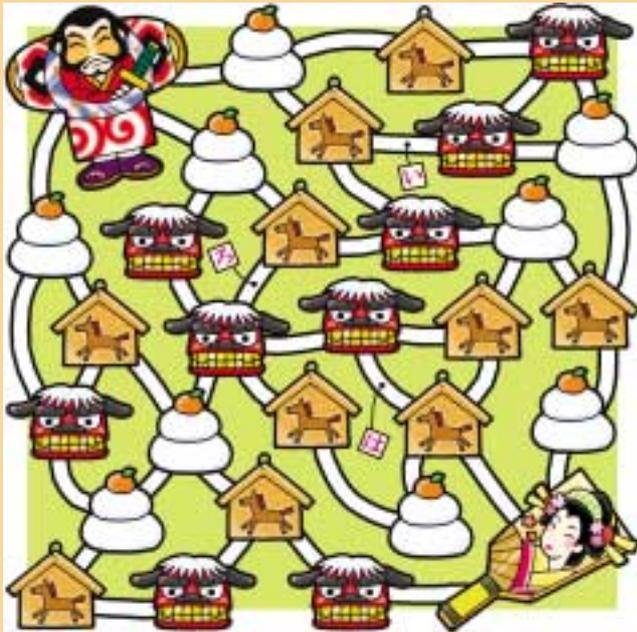


## 中標津JVチームが優勝 Punchチーム

### 壮年の部 青年の部



# パズルで脳を活性化



## 第一問 お正月迷路

難易度 ★☆☆☆☆

ルール

やっこだこから羽子板まで、鏡もち→絵馬→獅子頭→鏡もち…の順番に通りながら抜けましょう。順番を乱したり、同じところを2回以上通ったりしてはいけませんよ。

問題: 正解の道は、「い」「ろ」「は」のうち、どれを通るでしょう?

出題: ニコリ

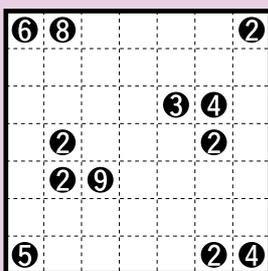
## 第二問 四角に切れ

難易度 ★★☆☆☆

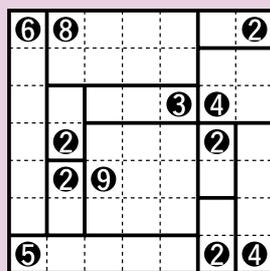
ルール

- ① 盤面をほかの数字が入らないよう長方形(正方形)に分割します(TとかLなどの形はダメ)。
- ② 数字は長方形の面積です。1マスの面積は1です。4と書いてあるマスを含む長方形は1×4、2×2、4×1のどれかです。
- ③ 切るのは点線の上で、どの長方形にも数字が1つずつ入ります。

例題



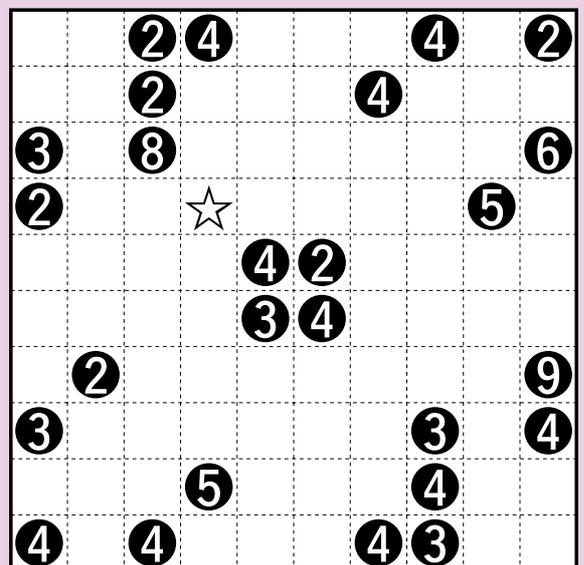
答え



考え方

大きな数字や、切り方が限られる数字にまず注目するのがコツ。  
例題で、⑧は横長の2×4に切るしかありませんね。この四角が決まることで、ほかの数字の切り方がどんどん決まります。このマスはこの数字の四角に必ず入る、というような考え方も役に立ちますので活用しましょう。

問題: ☆のマスを含む四角はどんな四角になるでしょう? マス目と数字、☆の場所も書いて教えてください。



出題: ニコリ



時間の取れるお正月に、頭を使うパズルはいかがでしょう。  
今回は、楽しみながら脳を活性化させるパズルをご紹介します。  
一人でじっくり、または皆でワイワイと難問にチャレンジしてください。



## 第三問 数独

難易度★★★★★

ルール

- ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。
- ②縦列(9列)、横列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字がどれか一つずつ入ります。列やブロックで同じ数字は重複しません。

考え方

同じ列やブロックに1~9の数字が重複ないように並べるパズルです。ある数字に注目して考えると分かりやすいですよ。

例題で解き方を覚えましょう。例題の左下にある3×3のブロックには、まだ4が入っていないので、どこかに4が入るはずですよ。2の下以外の空きマスは、同じ縦列や横列にもう4が入っているので、4を入れられません。そこで、2の下が4になるのです。一通りに決められないところは後回しにするのがコツ。試行錯誤やヤマ勘は不必要ですよ。

例題

	1	4		5				3
6					9	4	2	
8			1					9
		5		9				4
4		7		8				2
	7		2		6			
	9				1			5
	2	8	3					4
5				6		7	1	

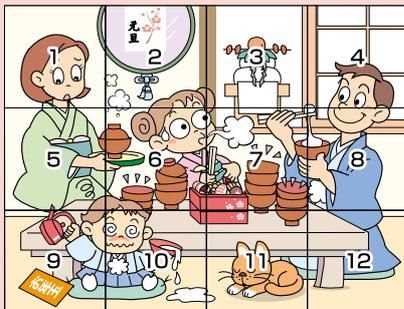
答え

9	1	4	2	5	6	8	7	3
6	5	7	8	3	9	4	2	1
8	3	2	1	4	7	5	9	6
2	8	5	6	9	3	1	4	7
4	6	9	7	1	8	3	5	2
3	7	1	5	2	4	6	8	9
7	9	6	4	8	1	2	3	5
1	2	8	3	7	5	9	6	4
5	4	3	9	6	2	7	1	8

問題：二重枠に入った数字の合計はいくつでしょう？

6					1			3
		2	3	6				
	7	8				9	6	
	9				8	1		
				5				
								2
	3	5					7	8
					8	4	3	
1			2					4

出題：ニコリ



## 第四問 まちがい探し

難易度★★★★☆

問題：BのイラストにはAのイラストと違う部分が5カ所あります。  
間違っている部分を左のイラストの中の数字でお書きください。

A



B



イラスト・出題：酒井栄子

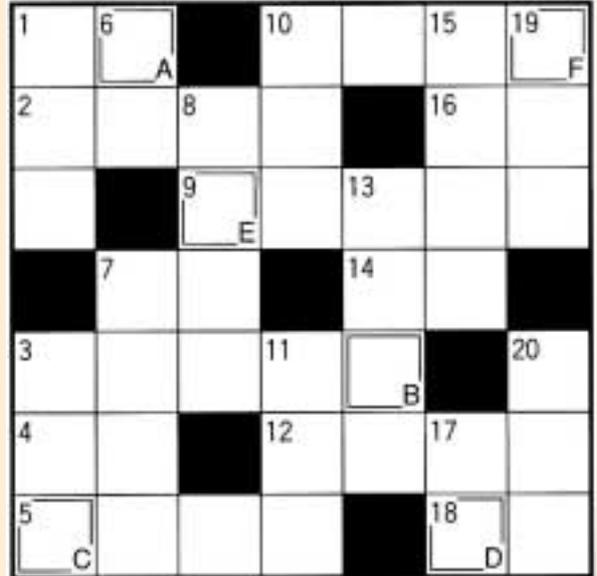
# クロスワード

## タテノカギ

- ①古墳から出土する焼き物 人や動物の形をしたものもあります
- ③絵のこと 古典—— ——展
- ⑥こたつが大好き、上で丸くなったりします
- ⑦ゆっくりつかって温まりたいですね
- ⑧袖のない衣服 ベストともいいます
- ⑩真っ赤な色
- ⑪羽毛のこと これがいったジャケットは軽くて暖かいです
- ⑬和室の居間は洋室なら——ルーム
- ⑮野外で夜を明かすこと 寒いと大変です
- ⑰強情な人は、つい張ってしまう
- ⑲魚を捕るのに使われたりする鳥
- ⑳風邪をひいたときや、花粉症のときにします

出題 / ニコリ

二重マスの文字を、A～Fの順に並べてできる言葉は何でしょうか？



## ヨコノカギ

- ①羽子板で突くもの
- ②タバコに含まれている物質の一つ
- ③シベリア方面からやって来て日本に寒さをもたらします
- ④——エビ ——神社 ——志摩
- ⑤1月1日の朝
- ⑦甲が1番、コは2番
- ⑨恐竜時代、空を飛んでいました
- ⑩組織、団体の中心人物 政府—— 日米——
- ⑫ホーホケキョと鳴きます
- ⑭釣った魚を入れるもの
- ⑯派手さはなくて控えめです
- ⑱回るものの中心にあります

12月号のクロスワードと1月号の新春企画およびクロスワードパズルについて、全問正解者の中から抽選で3人に最高、1万円の商品券などが当たる大抽選といたしますので、奮ってご応募下さいませ。応募に当たっては、『必ず』ひとコメントも記入していただきたくお願いいたします。  
応募締め切りは平成20年1月25日（金）。

## 酪農について楽しく学ぼう！

# Jrホルスタインクラブで**新入部会員募集**



中標津Jrホルスタインクラブ（運営委員長・横田千秋）では、新入会員を大募集しています。

同クラブでは、子どもたち（おおむね小学校4年生から高校卒業まで、兄妹の場合はそれ以下でも可）に広く酪農のことについて知ってもらうことを目的に学ぶ機会と牛を身近に見る機会を提供しています。ほかにもキャンプや収穫祭などなかしべつの四季に応じた行事を行なう楽しいクラブです。

農家の子ども以外でも入会可能ですので、興味のある方や小・中学校の先生など子どもたちと地域の農業・食育の協働などに興味のある方がいらつしやいましたらご連絡をお願いいたします。

●中標津Jrホルスタインクラブ事務局  
（家畜改良課・佐々木尚洋）

TEL 73-2131

# 第56回 全道JA青年部大会

テーマ『With you～心を繋ぐ～』

## 全道大会～全道の取り組み、進める行動を確認

『With you』を今年度の大会テーマに、各地の取り組みを相互理解し、道内青年部盟友の結束を強めることを目的として開かれた第56回全道JA青年部大会が札幌市・パークホテルを会場に行なわれました。

12月6～7日の日程で全道各地から約600人が参加して、青年部が向かう方向性や役割を採択し確認しました。

大会初日は、青年の主張発表、各単組の活動実績発表、各営農作目に分かれての分科会と懇親会におけるアームレスリング大会、JA青年の歌「君と」カラオケ大会などが行なわれ、2日目には元プロ野球選手の中畑清氏による記念講演、1分間スピーチ、前日の結果発表などにより共に頑張る仲間の結束強化、JA運動の展開と部員家族の社会的地位向上に。

当農協青年部は、一昨年のアームレスリング大会根室地区代表、活動実績発表根室地区代表。昨年の青年の主張発表根室地区代表となり、それぞれ優秀な成績をおさめながらも東北・北海道ブロック大会に届か

い結果にありました。

今年度は一昨年に行なわれた新青年の歌「君と」のカラオケ大会が再度、行なわれるということで、根室地区の代表として参加。武佐小学校の皆さんおよび岡本教諭の協力をいただきながら、自主練習を含め2カ月間の練習を積んで、5人のハーモニーコーラスによるアカペラを完成させ、大会に臨みました。

大会を目前に迎えて、家族の傷病により不慮のメンバーチェンジを余儀なくされたこともありましたが、無音源カラオケのアカペラという音を外してしまおうとどっかへ行ってしまう中で旋律の調整とヴォーカル担当の和音が綺麗に響き渡り、開場からは拍手喝采。初日の親睦会に参加された中畑清審査員には「お前のところが優勝だ！」と太鼓判を押されたのですが、結果発表最後まで勝負は水物。ギターによる伴奏に合わせた高音・低音パートで歌い上げたチームが最優秀となり、ガツクリ肩を落としました。

手前味噌ながら、アカペラでのハーモニーの技術的難易度と完成度の高さに、

もうちょっと注目して欲しいかなあと感じました。



根室地区代表、JA根室青年部の長山雄一さんによる活動実績発表。「孤独な独身男性」からの脱却作戦「ファームinねむろの取り組みを紹介。道外女性との交流会の開催方法について試行錯誤を重ねる。



中畑清さんから大変大きな評価をいただきました。



アームレスリング大会地区代表のJA標準の笹木栄人さん(右)。惜しくも敗退。全道の壁は厚い。優勝者いわく、腕相撲の練習を積んできたとのこと。

▲開始前の音合わせ。この曲はラの音にあわせるのが、重要なのです。それぞれ、力を出し切りました。皆、ステージで歌うことに、スッキリしたようです。



元気がいっぱい。笑いもいっぱいの講演。

大沢啓三親分はロツテと日ハムの監督を歴任したので、別格として、栗山英樹さん、広瀬哲朗さん、中畑清さん。青年部大会で講演してくれた元プロ野球選手人から監督がでてくれるといいなあ。との声も。



バッテリーボックスに入ったら、鋭い眼光！



道青協の杉山会長  
長期的展望が持てる農業政策の確立と国民への理解を求める取り組み、食と農の相互関係と生活者・消費者への橋渡し、担い手として次代を繋ぐ自分たちが日々研鑽する意思を強くし、今の環境を未来に残す北海道農業の確立を自分たちの手で成すことを皆で誓い、決意した。

# みんなの 掲示板

新着情報については、公式HP  
<http://www.ja-nakashibetsu.or.jp>

に随時掲載中！  
 皆さまからの情報提供は、

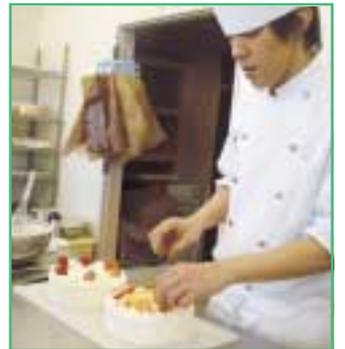


こちらへ **72-3721**

e-mail:info@ja-nakashibetsu.or.jp

**11/6・28**  
**食品加工  
 交流部会**  
 プロの手ほどきで  
 ケーキとパンづくり講習

11月6日と28日、JA中標津農業農村交流施設クレエにて、食品加工交流部会全の体研修が行われました。この全体研修は、ホクレン地域牛乳乳製品需要拡大事業のもと、プロの方に講師を依頼し技術や知識の向上を目的に実施されたものです。



11月6日、フランダーズ中標津店店長・村上氏に講師を依頼して、部会員14人が参加しました。クリスマスに向けてスポンジケーキの作り方、デコレーションの仕方を教えていただきました。

スポンジケーキは、卵とグラニュー糖を混ぜ合わせた時にできた気泡を、他の材料を混ぜ合わせる時に潰さないようにすることが重要で、ふわふわのスポンジケーキが出来上がります。

スポンジケーキに生クリームをデコレーションしていきます。プロの実用的なパレットナイフや回転台の使い方などを教えていただきました。

11月28日、業務用小麦粉やレーズンなど菓子の素材を販売する中村商会の名古屋氏にご協力いただきながら、木田製粉・加藤氏に講師を依頼して、部会員10人が参加しました。



北海道産の小麦からできた「道春」で、バター他に「中標津牛乳」、「フレッシュクリーム」をふんだんに使った「ホテルブレッド」や「ミルクブレッド」などを数種類の製パンの作り方、成形の仕方を教えていただきました。乳製品をたっぷり使った、とってもリッチな製パンを教わり、また、普段の部会活動



での疑問点などに対するプロの意見を積極的に聞ける有意義な時間となりました。

**12/1**  
**食品加工  
 交流部会**  
**学級レクレーション  
 今年3回目の加工受入**

12月1日、JA中標津農業農村交流施設・クレエにて中標津東小学校5年3組の学級レクレーション行事として「加工体験」が行われ、生徒たち20人が参加しました。クレエにおいて組合員以外の様々な方との交流を目的として加工体験の受け入れを行っており、今年度、3回目の小学生加工体験になりました。講師は、部会の山下智代さん、中司俊枝さん、中林富士子さ



んが務め、「サクサクスコーン」作りを行いました。作業の前には、簡単クイズも行ないました。  
 小麦粉にバターや中標津牛乳を混ぜ合わせた生地を作り、それを好きな形で型抜きし、チョコチップを飾る作業を行いました。  
 スコーンが焼き上がるまで、中標津牛乳とフレッシュクリームをたっぷり使ったアイスクリームを食べながら待ちました。  
 スコーンが焼き上がると、生徒は大興奮。焼きたてをみんなで試食しました。自分が作ったスコーンは格別だったようです。

家族揃って  
ボウリング大会

12/1

女性部  
フレッシュユミズ

12月1日、ウコウボウルにてフレッシュユミズボウリング交流会が行われ、部員や家族合わせて36人が参加しました。

昨年に引き続き、部員だけでなく旦那さんやお子さんも一緒に参加して、家族揃っての交流で、楽しい時間を過ごすことを目的として行いました。

個人戦でゲームスタートとなりました。ゲーム中は、ストライク・スペアーなど連続で出す人もおり、上位はハイレベルなゲームとなりました。また、ミスストロークに対しては、本人を含め同じレーン内から笑い声が。パパやママや、弟に手伝ってもらいながら打球したり、ゆっくり転がっていくボールと静かに倒れるピンなど、家族揃ってのゲームだからこそその光景が和やかなムードでした。

ゲーム終了後の成績発表は、松本麻美部長より上位入



賞・ブービー賞獲得の方々に賞品が手渡されました。優勝者は、パパの部・山下匡大さん、ママの部・山下綾さん、子供の部・笠井愛里ちゃんとなりました。おめでとうございませう。パパの部、ママの部と分けての表彰でしたが、結果的には1位から3位までそれぞれがご夫婦一緒の受賞でした。

開催時間が夜間だったことに加え、レーンに余裕がなく各レーン満員でプレーしたため長時間かかったのが皆さんお疲れの様子でしたが、今年も多くのご家族に参加していただき、楽しい時間を過ごす事が出来ました。家族で楽しい時間を共有する機会として是非家族揃ってご参加ください。

牛乳パックと古着などで  
エコ座椅子作り講座

12/3

女性部青葉会

12月3日、JA中標津中会議室にて青葉会の『手作り講座』が行われ、講師の渡辺フク子部会長の指導のもと、牛乳パックを使って10人が座椅子作りをしました。

あらかじめ、1枚に広げて乾かした牛乳パックを三角の筒状にし、それを24個作り、交互に組み合わせて六角形の土台に組み上げます。それに布を被せて座椅子の完成。着なくなった洋服などを利用すると、いっそうエコ座椅子になります。

高さを調節して、立ち上がりの肘掛けやちよつとした椅子としても利用できます。牛乳パックはとても丈夫なので



色々使えます。他にもいろいろな工作で、子供から大人まで便利に活用できるエコな素材です。

みんなで楽しめる  
競技も

12/5

女性部  
スポーツ交流会

12月5日、中標津町営体育館にて女性部『スポーツ交流会』が行われ、20人が参加しました。

日頃の運動不足解消のため、女性部三層の交流の場として企画されたスポーツ交流会。お馴染みのミニバレーやミニテニス、卓球の他にペタンクやグラウンドゴルフなどを行いました。

ペタンクは、ルールは簡単ですが奥が深い。誰でも楽しめるので面白いスポーツでした。グラウンドゴルフは、専用ポ



ールとスティックを使う室内パークゴルフ。卓球は、4人で楽しむ事のできる円形の台を使いました。体育館全面を使って、思い思いの種目で時間を過ごしました。



ペタンク (petanque) はフランス発祥の球技で、オリンピックの前などで普通に誰でもプレイしている国民的スポーツです。日本では、まだあまり認知度が高くありませんが、テレビ番組で取り上げられたりもしています。ルールは、シングル、ダブルス、トリプルのそれぞれ対抗戦で、目標球を目指して両チーム専用ボールを投げ、先に目標球に近づいた玉の合計数13になったチームが勝ち。

目標球にボールが遠いチームは相手チームのボールに当たって弾き飛ばしてもよいので戦略性と集中力が必要です。日本全国でも各地に協会や愛好者があり、冬場のビニルハウス内で行なったりして着実に普及されています。



新青年の歌  
「君と」も披露

12/12  
年末恒例行事  
反省会&交流会

青年部の年末恒例行事である反省会&交流会が12月12日、寿宴で開かれ、約8割の盟友が参加、急ぎよのご案内となった職員組合のご協力で職員も参加していただいていたの交流会となりました。

今年は職員との交流会をし

ていないので、是非、職員にも来て欲しい。開催3日前の日曜夜に開かれた会議で、その結論にいたり、急ぎよご案内しました。

青年部員も今年数人が新人で部員になり、「部員同志の顔はわかるが名前が一致しない」という声や「職員もわからないなあ」ということもあり、くじ引きでの席割り与自己紹介方々、全員にマイクを向けて、発言してもらいました。

青年部でも販売しているミルキーラーメンについては、一回食べてもらわないと自分たちがPRできないので、是非食べる機会をと、早食い競争と参加者全員にお持ち帰りいただきました。



ルーキーズスカレッジ3期生の海外研修参加者（国見、林、保科）による報告や全道大会参加者による、全道大会の感想、また、大部分の部員には、初お披露目となった全道大会で発表した新青年の歌「君と」も披露しました。

青年部のそれぞれの部員にとつて20年が、いい年になりますように…。

絶対調の部長が  
率いて単組優勝も！

12/15  
地区青協  
ボウリング大会

根室地区青年部連絡協議会のスポーツ交流会が12月15日に中標津のウコウボウルで開かれて、各地区の青年部員と地区青協役員、応援合わせ60人弱が集まり、スポーツに汗を流し交流を深めました。

例年、単組単位の勝敗と個人賞などでの表彰だったため、せっかく同じレーンになっても交流が持ちにくいとの意見を反映して、レーンごとの順位づけも行なうこととしました。

例年、登録チーム（1チーム3人、最大3チームまで）が9人だったので、今年も中標津青年部の各支部より参加者を募り、参加の依頼をしつつ9人を決定。本番に臨みました。実は、表彰基準が参加者2ゲームの合計平均で団体



戦の勝敗が決まるとのこと、上手な人が参加すれば優勝の確率が上がるようになっていたのは誤算でした。

ボウリング場の全レーン貸し切りのような状況でしたが、別の単組からは予選を行ない、勝ち上がった猛者を用意したところもあって、どのレーンからもスベアマークやストライクのマークがどんだん点灯し、見ているも飽きない大会となりました。

中標津の結果は、単組表彰では9人の参加で部が悪いところもありましたが、それを感じさせない平均スコアで1位。

個人でも中本信幸部長が1ゲーム目196点、2ゲーム目191点という高い成績を収め優勝しました。



## フレッシュチェックと妊娠鑑定の徹底を！

さあ、新しい1年が始まりました。今月は新年ということで、繁殖を基本に戻って考えてみましょう。近年、『産次数は少ないのに受胎しにくい』『発情兆候が微弱で授精適期がつかめない』というウシが増えています。しかし、これは特定の農家や地域などに限ったことではなく、世界的に同じような状況にあります。

そこで、『受胎しにくいこと』を悩むのではなく、受胎しにくいウシを早期発見し、牛群全体の空胎日数を短縮することに目を向けていきましょう。



### 分娩から60日でのフレッシュチェックをしましょう

60days



フレッシュチェックとは、発情の有無にかかわらず卵巣や子宮の状態を触診することです。この頃までに発情が回帰しない場合は、なにか問題があると考えてください。

フレッシュチェックの重要性は発情することです。卵巣や子宮に異常はないか、きちんと動いているかを確認して、早い時期から適切な処置をしましょう。そして、初回授精までの日数を短縮するように努めましょう。



### 最終授精から60日での妊娠鑑定をしましょう

初回授精までの日数を短縮することができたら、次は妊娠鑑定です。最終授精から60日になると、子宮内の胚〔胎児〕は安定期に入り、その状態を触診によって確認できます。

ここで受胎が確認されなかった場合は、フレッシュチェックと同様に60日間発情兆候を見せていないことになります。

また、ブリーディングカレンダーなどを活用して、忘れずに妊娠鑑定を実施しましょう。

Pregnant!



### 継続するのは難しいことですが、1年後にはきっと成果がでます!!

## 「ETチャレンジ50達成！」

平成17年度の成績で『ETチャレンジ50』を達成しました。

『ETチャレンジ50』とは、体内受精卵移植の年間受胎頭数50頭以上、受胎率50%以上の機関を50以上作るという、全国的な受精卵移植の指標です。

17年度の成績において改良課では移植頭数554頭、受胎頭数284頭、受胎率51.3%でした。移植頭数500頭以上で『チャレンジ50』達成機関は全国で8機関のみでした。(うち4機関はET専門機関)

平成20年も改良課では受精卵移植に力を注いでいきますので、乳牛の改良促進や和牛受精卵を用いた初妊販売などに利用してください。

また、リピートブリーダー対策として体外受精卵を使った『追移植』も行っています。

詳しくは、各地区担当者に相談してください。

人工に  
相談だ。





# 年末年始の業務日程

一般業務納め 12月29日(土) 正午まで  
一般業務始め 1月7日(月)



部門名	日程	12/29(土) 業務納め	30日(日)	31日(月)	元旦(火)	2日(水)	3日(木)	4日(金)	5日(土)	6日(日)	7日(月) 業務始め
一般業務		12時迄	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	休業	平常業務
貯金・組助・共済		共済のみ12時迄	休業	休業	休業	休業	休業	15時迄	共済のみ12時迄	休業	平常業務
ATM	事務所	14時迄	休業	休業	休業	休業	休業	15時迄	15時迄	休業	平常業務
	あるる	9時~17時迄	9時~17時迄	休業	休業	休業	休業	10時~17時迄	10時~17時迄	10時~17時迄	平常業務
Aコープ		9時~20時迄	9時~20時迄	9時~17時迄	休業	10時~17時迄	10時~17時迄	10時~17時迄	10時~17時迄	平常業務	平常業務
資材店舗		12時迄 配達受付10時迄	休業	休業	休業	休業	休業	12時迄 配達受付10時迄	12時迄 配達受付10時迄	休業	平常業務
給油所	農協前	平常業務	休業	休業	休業	休業	休業	平常業務	平常業務	休業	平常業務
	桜ヶ丘	平常業務	平常業務	15時迄 洗車機17時迄	休業	休業	休業	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
人工授精		平常業務	平常業務	平常業務	受付午前9時迄 午前業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
生乳検査		平常業務	平常業務	平常業務	休業	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務
乳製品工場		平常業務	休業	休業	休業	休業	休業	平常業務	平常業務	平常業務	平常業務

発行/中標津町農業協同組合  
編集/営農部 経営企画課

〒086-11007 北海道標津郡中標津町東7条南2丁目1番地  
電話/0153-721-3721 (編集直通)

印刷/雨宮印刷株  
2008年(平成20年) 1月1日発行 通巻397号

**コラム**

**牛舎、畑からこんにちは**

「偽物はいらない。目標と計画を持ってスタートダッシュだ!」

ウシ「昨年は、『偽』が踊った一年だったわね」

○ジャガイモ「そうだ!食品偽装や消費・賞味期限の改ざん、産地を偽ったりと消費者の気持ちを無視する加工業者や製造業者の存在がずいぶん明らかになったよ!」

ウシ「企業が目的を見失ってしまったのね」

○ジャガイモ「本来の目的を見失って迷走しては、おしまいだな!」

○ジャガイモ「一方で検査・監督機関の怠慢も指摘されたな。でも、現場ではウシさんのところの旦那さんや奥さん(牧場主たち)も、消費者に良いものをと、ずいぶん体細胞数や細菌数の低減のために目を光らせているようだね」

ウシ「おかげで、私たちの生活環境もすごく快適になってるのよ」

○ジャガイモ「せめてオレたちに一番近い現場だけでも安心・安全に対する気持ちを持ち続けて、関連機関に言い続けてもらわないとならないな」

ウシ「そつね、牛乳は生乳からしか生産できない。だから自信を持って、目的を見失わないように。それぞれの家族がみんな相談しあい目標と計画をたてて、力を合わせて牧場経営を考えて欲しいわね」

牛乳に相談だ

**イライラする**

gyuinyu.com

ウシ(メス)、ジャガイモ(オス)。鋭い観察眼で世相を切る。体の大きさも、姿形も違う2人だが、農業への熱い思いは重なっている。両者の秘密は回を重ねるたびに明らかになるのか?

○ジャガイモ「厳しい農業情勢を乗り切るのには、目標(地図)と計画(コンパス)を頼りに、家族が力を合わせていかなきゃならない!」

ウシ「まずは家族で話し合わないとね」

○ジャガイモ「ちょうど十二支のスタートの年だ。スタートを切るにはいい時期だよ!」

先生! 農園君がブツブツお喋りなストに集中できません!

なんか イライラしてオレに集中できないわ

同業さん イライラする時は、牛乳を飲むといいよ

シャラップ!